

お話

お茶の水女子大学附属幼稚園

佐藤 寛子先生

川崎市総合教育センターカリキュラムセンター

山城 祥二先生

生活科の特徴

生活科は、具体的な体験や活動を通して「生活に関わる見方・考え方」を生かしながら資質・能力を育む教科です。

幼児期から遊びの中で身近な人や自然、社会との触れ合いを通して育まれた豊かな感性を生かし、小学校以降では体験活動と表現活動の相互作用を軸に、気づきの質を高めていきます。また、学習指導要領解説総則編では、幼児教育との接続においては生活科を中心とした合科的・関連的な指導を重視しています。幼児教育を通して生まれる学びの芽生えを小学校教育の学びの基礎へとつなげていくという意識が大切です。

幼児期の遊びを通して育まれた「感じる」「気付く」「繰り返し関わる」「考える」「試す」「工夫する」といった資質・能力が、生活科を中心とした学習において発揮できるようにしていきます。生活科における栽培活動や身近な自然やものを使った遊び、学校探検や季節を感じる活動の中で、幼児期に体験したことを想起させたり、そこで得た気づきを授業に生かしたりすることで、児童はそれまでに培った学びを生かしながら主体的に学びに向かう姿につながります。

幼児期の遊びを通した学び

幼児は身の回りの人、もの、ことなどの対象に豊かに関わり、じっくり遊ぶ中で、様々に感じたり考えたりしています。そして、自身の世界を広げたり深めたりしていきます。また、夢中になって遊ぶ中で味わった実感は、小学校以降の生活や学習に向かう意欲や態度へとつながっていくでしょう。

具体的には…

- 水、砂、土などの自然物に興味をもち、自ら体全体を使って遊ぶことで、感触を味わい、その性質に気付いている
- 空き箱や新聞紙などの身近材を見立てたり、材料から刺激を受けイメージを膨らませたり、イメージしたものをつくりながら、遊びに必要なものをつくりだすことを楽しんでいる
- 身の回りの人、もの、こととの関わりの中で、うまくいかないもどかしさや戸惑いを感じ、どうしたらよいかと考え、試行錯誤しながら自分なりに解決しようとしている
- 育てた野菜や、工夫して採った園庭の樹木に実った果実を調理するなどして、みんなで分け合いながら食べるおいしさや楽しさを味わっている
- みんなが楽しく遊び、心地よく過ごしていくために必要なルールを考え、つくっていくこうとする

幼児期の 遊びを通した学び

と

生活科 学校と生活

とのつながり



遊びを通した学び

ねずみばあさんが…
絵本の登場人物が園にもいるかもしれないと、みんなで集まり何やら相談。「ねずみか好きなものをこっそり置くのはどう？」翌日、園庭に夏みかんを置いていた。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

絵本の読み聞かせからイメージが広がり、目に見えない世界を友達と一緒に自分たちの生活と結び付けています。イメージの世界と現実を行き来しながら広がる遊びを見守ります。



遊びを通した学び

牛乳パックの電車を走らせて…
「1番線、まもなく電車が到着します」廊下につくった駅を拠点にして、友達とやり取りしながら走らせる。「もっと長くつなげよう！」

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

大好きな電車で遊ぶ場に、廊下を選んだ子供たち。牛乳パックの電車も長い廊下のように、どんどん延びていきます。やりたい遊びに適した場所を自分で選んで過ごすことができることで、イメージも友達との関わりも広がっていきます。



遊びを通した学び

遠足で看板を発見！
「ゴミは持ち帰るんだって！」と書かれていることをみんなで読むと、おやつのごみを自分のリュックへ入れている。



遊びを通した学び

芋掘りでたくさん収穫…
「たくさんとれたから食べてください」掘ってきたジャガイモを近くのこども園やナーサリー、毎朝「おはよう」の挨拶をする守衛さんにお裾分けしている。



主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

園外に出掛けるといろいろな人たちと出会います。出会いや関わりを大切にすることで、いろいろな人が暮らしていることに気付き、自分たちの生活に関係のある人たちへの親しみの気持ちを表すようになります。



遊びを通した学び

「お砂糖、どこかな…？」梅ジュースづくりの材料を買いに店へ。家族と行く買い物とは違い、緊張した様子。無事に買って意気揚々と園に戻っていく。



遊びを通した学び

隣の小学校から流れてきた音楽…
「何をしているんだろう？」と興味津々。思わず遊びを止めて「見てみたい」と集まってきた。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 社会生活との関わり
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 言葉による伝え合い

※これらの活動では他にも「思考力の芽生え」「健康な心と体」「豊かな感性と表現」などの姿も見とれますが、ここではあえて「学校と生活」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 学校での生活は、様々な人や施設と関わっていることが分かる
- 学校の施設の様子や学校生活を支えてくれている人々、通学路の様子やその安全を守ってくれている人々について考えている
- 楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする

幼児期の遊びを通した学び

身近な地域を散策したり、そこにある人・もの・ことと関わったりする活動を通して、「感じる」「気付く」「考える」「表現する」といった思考を働かせる。

目標	(知識及び技能の基礎) 学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かる。
	(思考力、判断力、表現力等の基礎) 学校の施設の様子や学校生活を支えている人々、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考える。 (学びに向かう力、人間性等) 楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりしようとする。
学習計画	①② 園と学校の違いから、学校の中で行ってみたいところを話し合う。
	③④⑤⑥(本時) 学校を探検して気付いたことを伝え合い、学校のキラキラ(すてきなところ)を共有する。
	⑦⑧⑨⑩⑪⑫ もっと詳しく知りたい場所や、会ってみたい人について話し合い、繰り返し学校探検に行く。
	⑬⑭⑮ ※丸囲み数字は授業時数 学校探検で気付いたこと等を地図上に表し、キラキラ学校地図をつくる。

【授業展開例】

思いをもつ

園と学校の違いについて話し合い、学校の中を探検したいという思いや願いをもつ。

★皆さんが通っていた園と比べて学校はどうですか。面白そうなところや行ってみたいと思ったところがありますか？



- こんなに広い校庭があるなんてすごい。遊具もあったよ。
- 入学式をやった体育館もすごく広かったよ。
- 保育園のお散歩のとき、学校からきれいな音楽が聞こえてきたよ。楽器がある場所がどこかにあるんじゃないかな。
- 教室に来る途中で大きな道具が置いてある部屋があったよ。何に使うんだろう。
- 廊下の奥に階段があったよ。どこにつながっているんだろう。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園との比較から、子供の学校への興味・関心を引き出し、学校の様々な場所に行ってみたい、学校でこんなことをしてみたいという思いや願いが生まれるようにする。その際に園と共通することを感じさせ、学校への安心感へつなげる。

★気になるところがいっぱいですね。大きさは違って、園庭や教室、園と同じところもたくさんあるのでしょ。学校にしかないものもあるかな？ わくわくしますね。

伝え合う

学校の中で行ってみたい場所ややってみたいことを伝え合う。

学校の中で行ってみたいところを探検しよう。

★では、これから学校を探検してみましょう。まずはどんなところに行ってみたいですか。



- まずは、教室に来る途中にあった大きな道具が置いてある部屋に行ってみよう。見たことない機械や大きな絵が飾られていたよ。
- どこからか歌っている声や楽器の音が聞こえてきたよ。どこかに楽器がたくさんある部屋があるんだよ。探しに行きたいな。
- 階段がいくつかあったよ。どこにつながってるか調べてみたい。何階まであるのかな。
- 私のお兄ちゃんは3階で勉強してるって言ってたよ。会いに行きたいな。
- 入学式で行った体育館にも行ってみたい。きっと広いからたくさん遊べるよ。
- 校庭がすごく広いから、思いっきり走りりたいな。あと、鉄棒やジャングルジムもあったよ。あそこでみんなで遊びたいな。

★(子供の思いや願いを模造紙等にまとめていく。)たくさん出てきましたね。では、今日は、みんなが気になっていた同じ階の部屋に行ってみましょう。

いろいろな場所に
行ってみたいな!



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園との違いから、子供の学校への興味・関心を高め、学校の様々な場所に行ってみよう、学校でこんなことをしてみたいという思いや願いを伝え合い共有しながら、視覚化を図る。

探検する

子供の思いや願いに合わせて、学校探検に行く。(1回目)

- すごい!木でできた机だよ。なんだか傷が付いているな。ここで何をするのか。
- お姉ちゃんがカッターとかのこぎりを使って作品づくりをするって言ってたよ。私もそういうのやってみたいな。
- 幼稚園でも工作したことあるよ。学校ではこの部屋で工作するのか。
- 入口に部屋の名前が書いてあったよ。先生に聞いたら、図工室って読むんだって。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

「もっと〇〇したい」という思いや願いが膨らむように、子供の発言を模造紙にまとめ、行ってみたい場所リストをつくる。探検を繰り返しながら、リストが増えていくようにする。

次はどこに
行こうかな!



振り返る

本時の学習をまとめ、次時への見通しをもつ。

★面白いものがたくさんある部屋でしたね。みんなが気付いたことを教えてください。(上記の気づきを言語化、動作化するなどして表現し、板書にまとめる。)(リストを見ながら)次の時間に行きたいところはどこかな。次時へのめあてにつなげる。

幼児期の遊びを通した学び

生活科と自然やものを使った遊びとのつながり



遊びを通した学び

「葉っぱで枕をつくる！」園庭のイチヨウの葉をビニール袋に詰めると、枕をつくり始めた。枕カバーになるように不織布を渡すと、イメージ豊かに絵をかいた。そっと頭を乗せて「草の匂いかするよ」とつぶやいている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

季節の色、匂い、空気、風…。幼児が全身で感じ、気付いたことを保育者も共に味わい、楽しめます。幼児のイメージを捉えて、タイミングを逃さずに教材を提示してみることで、幼児の体験が繋がっていきます。



遊びを通した学び

段ボール製のロボット…完成させると、「ロボットで家に帰りたい！」と言い、段ボールの顔を一度外し、かばんをちゃんと背負うと、ロボットのまま保護者の待つ玄関に向かっていった。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

イメージを形にできるよう、保育者は幼児の力量に応じた援助をします。思いが実現できた嬉しさや満足感が「ロボットで家に帰りたい」という思いとなって表れ、自信をもって自分の世界を表現し始めます。



遊びを通した学び

「これ使うと便利だよ」道具（ドレッシングマドラー）を使いながら、その特徴に気付き、使いこなしている。用途を超えた使い方を工夫している。



遊びを通した学び

拾ってきたどんぐりと松ぼっくりをお気に入りの箱に並べ始める。「きれいに並べたいのだけど、転がっちゃうの」と並べ方にこだわりが出てきている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

きれいに並べたいという思いが叶うよう、保育者も一緒に考え、用途に適した木工用ボンドを渡すと、子供は丁寧に付け始めました。思いがこもった魅力的な作品は、周りの子供のやってみてみたい気持ちを誘います。



遊びを通した学び

「いないねえ」夏の間たくさんいた昆虫がなかなか見付からなくなってきた。「秋になったのかな…」子供は遊びを通して季節の変化を感じている。



遊びを通した学び

「こんなのできたよ！」拾ってきた枝や松ぼっくりに、好みの色の毛糸を巻いて、オリジナルのオーナメントが完成。クリスマスツリーに飾っている。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 自立心
- 思考力の芽生え
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「健康な心と体」「自然との関わり・生命尊重」などの姿も見とれますが、ここではあえて「自然やものを使った遊び」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 遊びや遊びに使うものをつくる面白さや自然の不思議さに気付く
- 遊びや遊びに使うものを工夫してつくり出せる
- みんなと楽しみながら遊びを創りだそうとする

幼児期の遊びを通した学び

身近にあるものや自然を使って、遊んだり、遊びに使うものをつくりたりする活動を通して、「考える」「試す」「工夫する」「表現する」といった思考を働かせる

目標	(知識及び技能の基礎) 遊びや遊びに使うものをつくる面白さや自然の不思議さに気付く。
	(思考力、判断力、表現力等の基礎) 遊びや遊びに使うものを工夫してつくり出せる。 (学びに向かう力、人間性等) みんなと楽しみながら遊びを創りだそうとする。
学習計画	①② 身近な公園や校庭で秋の自然と触れ合い、楽しかったことを伝え合う。
	③④⑤⑥(本時) 秋の自然を使った遊びを通して、もっと〇〇したいという思いや願いをもち、秋に繰り返し関わる。
	⑦⑧⑨⑩ もっと〇〇したいという思いや願いをもち、遊びや遊びに使うものを工夫してつくり出せる。
	⑪⑫⑬⑭ ※丸囲み数字は授業時数 みんなと遊ぶために、遊びの約束やルールを工夫して、秋の遊びランドを実施する。

【授業展開例】

思いをもつ

今までの経験を振り返りながら身近な自然を使った遊びを想起し、「秋の自然で〇〇したい」という思いや願いをもつ。

★この前は、公園や校庭でたくさん秋を楽しみましたね。そこで、皆さんがもっと学校の中でも秋を楽しみたいということで、秋の自然をたくさん持ち帰ってきました。園でも、秋を楽しんだことはありますか？



- 葉っぱを集めてみんなで寝転がったのが気持ちよかったよ。
- どんぐりをお金にしてお店屋さんごっこをしたよ。店の看板もつくったよ。
- 秋のものを使っておままごとしたのが楽しかった。

★たくさん楽しいことを経験しているんですね。最後は看板をつくってみんなでお店屋さんにするのもいいですね。今日は園で遊んだことも思い出しながら、1年生バージョンの秋の遊びを楽しみましょう。



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

公園や校庭での秋遊びの楽しさを十分に味わうことで、学校でも秋で楽しみたいという思いや願いが生まれる。その際に、幼児期での遊びを想起させることで、園での経験を生かし、遊びが更に発展していく。

遊ぶ

秋の自然を使った遊びの見通しをもち、秋の遊びを楽しんだり遊びに使うものをつくりたりする。

学校で秋の自然を使った遊びを楽しもう。

★今日は、広い多目的室で遊びましょう。みんなが集めた秋の自然をまとめた秋の自然コーナーもつくったので、たくさん使っていていいですよ。では、どうぞ。



- 葉っぱのお風呂をつくってみんなで入ってみようよ。
- 秋はきれいな色のものがたくさんあるから、秋の服をつくりたい。
- どんぐりを回すとコマみたいになるよ。もっと回したい。
- 秋を使ってたくさんお料理ごっこしたいな。
- 秋のものがたくさん集まったから、これで宝物探しをしたいな。
- 秋の葉っぱはお魚みたいに見えるから、釣りをしてみようよ。

幼稚園のときよりパワーアップだ！



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

「もっと〇〇したい」という思いや願いが膨らむように、広い空間で遊べるようにしたり、秋の自然をたくさん集められる場、必要な道具を使える場等を用意したりして、幼児期の経験を生かせる環境をつくる。

どんぐりの形で比べっこ！

交流する

遊んで楽しかったことや工夫したことについて伝え合う。

★遊んでみて楽しかったことや遊びの中で工夫したことはありますか？



- 葉っぱのお風呂の中に秋の宝物を入れたら、宝物探しができ面白かった。
- どんぐりコマは、使うどんぐりによって回り方が違って面白いよ。
- お料理ごっこでは、大きな葉を使うと料理を入れるお皿もつくれたよ。
- 釣りのときに、葉っぱが乾いていて取りにくいから、取りにくい葉は高い点数にしたよ。
- ごみ袋にたくさん秋のものを付けるとかわいい服ができたよ。

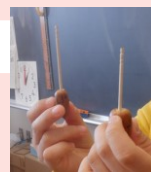
それ楽しそう！私もやってみよう！



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

単元目標を意識しながら、遊びを通して得た気づきを価値付け、クラス全体で共有していくことで、思いや願いの実現に向けて新たなヒントが得られるようにする。



振り返る

本時の学習をまとめ、次時への見通しをもつ。

- 今度は、宝物探しで見つけやすいようにどんぐりをカラフルにしたいな。
- かわいい服ができたから、今度はファッションショーをやりたいな。
- 秋の自然のものが足りないから校庭や公園に集めに行きたいな。
- 秋の楽しいところ、面白いところがたくさん見付かったよ。



面白い形の葉っぱ見付けたよ！

★今日も秋の楽しさや面白さがたくさん見付かりましたね。次はもっと楽しいことができそうですね。





遊びを通した学び

5歳児が世話をしている畑の野菜を、3歳児が採ってしまった。収穫を楽しみにしていた5歳児。けれど3歳児を責めるわけにはいかないと「**どうだ！ かかしをつくろうよ**」と提案している。

保育者の援助と環境の構成

5歳児が年下の幼児の思いを想像し思いやって「かかしをつくろう」と思い付いたことを遊びに生かし、つくる材料を一緒に探しながら用意します。栽培から収穫への過程にある様々な気付きが発達に必要な体験となるよう、環境を再構成していきます。



遊びを通した学び

今日も誘い合ってお目当ての幼虫を探しに行った二人。「**柔らかい土が幼虫はお気に入りなんだ**」「**けっこう深いところにいるんだよね**」虫の生育場所にも詳しくなっている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

互いに思ったことや考えたことをつぶやいたり聞いたりしながら、じっくり取り組む時間や空間を保障します。その子なりの環境への関わり方や感じ方を認め、大事にすることは、人、もの、ことと主体的に関わろうとする気持ちを育みます。



遊びを通した学び

モルモットのお世話…

「**この葉っぱはあんまり食べないね**」「**園庭にあるクローバーが好きみたいだよ！**」と親しみをもって世話をしながら、動物の特徴に気付いていく。



遊びを通した学び

園庭のピワの実が色付き始めたことに気付くのは、昨年の経験がある5歳児。最初こっそり味見して、「**小さい組にも分けてあげよう！**」とみんなに振る舞っている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

園庭に実のなる樹木のある豊かさ。花から実への変化を楽しみ、自然の恵みを収穫する、分け合って食べるなどの体験を通して、みんなで暮らす気持ちが育まれていきます。



遊びを通した学び

「**ピワの種、植えたいんだ！**」ピワをおいしく食べた後、とっておいた種を握りしめて持ってきて、土と植木鉢を大急ぎで用意。芽が出ることを期待しながら友達と種を植えている。



遊びを通した学び

「**大根、このくらい大きかった！**」掘った大根の大きさに心が動いていたので、翌日、大きな紙と絵の具を用意。のびのびとかき始める。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 自然との関わり・生命尊重
- 思考力の芽生え
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「道徳性・規範意識の芽生え」「健康な心と体」「協同性」などの姿も見とれますが、ここではあえて「動植物の飼育・栽培」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 動植物は生命をもっていることや成長していることに気付く
- 動植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる
- 生き物への親しみをもち、大切にしようとする

幼児期の遊びを通した学び

生き物を飼ったり、植物を育てたりする活動を通して、対象に働きかけながら「見付ける」「気付く」「考える」「試す」「工夫する」「表現する」といった思考を働かせる。

目標	(知識及び技能の基礎) アサガオは生命をもっていることや成長していることに気付く。
	(思考力、判断力、表現力等の基礎) アサガオの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。
	(学びに向かう力、人間性等) アサガオへの親しみを持ち、大切にしようとする。
学習計画	①② 幼児期の栽培活動の経験を想起したり、アサガオの種の観察をしたりして、植物を育てたいという思いをもつ。
	③④⑤⑥⑦⑧(本時) 自分の思いや願いに合わせて、アサガオを観察したり、アサガオの育て方について調べたりして、気付いたことを友達と交流しながら栽培の工夫を考え、実践する。
	⑨⑩⑪ ※丸囲み数字は授業時数 枯れてきたアサガオをどうしたいか話し合い、話し合ったことを実践する。

【授業展開例】

気付きを共有

前時でアサガオを観察した際に気付いたことを伝え合う。

★前の時間にアサガオの観察をしましたね。皆さんのアサガオ日記にもたくさん気付いたことが書かれていました。観察めがねでよく細かいところまで観察していてすごいです。観察をして気付いたことがある人は教えてください。

- アサガオさんの背が前より消しゴム3つ分くらい高くなったよ。
- 葉っぱの数が前より8枚も増えていたよ。葉っぱの大きさも大きくなったよ。
- 私のアサガオは元気がないよ。もっとお水をあげればよかったかな。

★みんなが大切に育てているから大きくなっているのでしょうね。でも、困ったことがある人もいます。同じように困っているという人はいますか。では、今日は、アサガオがもっと元気に大きくなるにはどうすればよいか考えましょう。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

観察の際に、ペーパーの芯を2つにつなげてつくる観察用のめがねや、携帯できるアサガオ日記など、園での遊びを生かしたアイテムをつくることで観察の意欲を高める。

話し合う

観察して気付いたことをもとに、栽培の工夫について話し合う。

アサガオがもっと元気に大きくなるにはどうすればよいか考えよう。

★園などで植物を育てたときに、どんな時にどのような工夫をしたか教えてください。

- アサガオに名前を付けて、毎日声を掛けてあげたよ。
- 毎日見に行って、一日3回お水をあげたよ。
- 太陽が当たっているところに置くと、元気になるよ。

★どんな工夫ができそうか話し合ってみましょう。

- お水はいつもどのくらいあげたらいいかな。友達に聞いてみたい。
- 毎日アサガオパトロールをして、太陽が当たっているところに場所を移してあげよう。
- 名前を付けるのはいいね。私のアサガオにぴったりの名前を考えたいな。
- 園では看板をつくって花壇に置いたよ。アサガオも嬉しいんじゃないかな。
- 園では歌をつくって歌ってあげたことがあるよ。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園での栽培活動を想起することで、それぞれの経験から得た気付きが関連付けられ、栽培の工夫についてのヒントとなるようにする。話し合った内容は模造紙等にまとめ、栽培の工夫の根拠となるようにする。

ベアやグループで相談タイム



試す

話し合ってから考えた栽培の工夫について実際に試す。

★では、今話し合ったことを、実際に試してみよう。アサガオのところに行きましょう。

- 水やりのお水の量を決めて、毎日あげてみよう。日当たりがいいのはここかな。
- アサガオの看板用にアサガオの絵をかくてあげよう。
- アサガオの名前はどのような名前がいいかな。よく観察してから決めたいな。

★みなさん、それぞれ考えた工夫をやってみることができましたね。次の時間にはこの続きをしましょう。楽しみですね。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

アサガオへの思いや願いを素直に表現する中で、アサガオの成長を歌にして歌ったり、成長の様子からイメージを膨らませて絵に表したりすることで、幼児期の「豊かな感性や表現」とつながる。



振り返る

本時の学習をまとめ、次時への見通しをもつ。

★今日の活動で考えたことや、やってみた工夫についてアサガオ日記にまとめよう。

- アサガオをよく見て、自分のアサガオだけの特別な名前を付けたい。
- アサガオの水やりをするとき、〇〇さんが言っていたように量を増やしてみようかな。毎日声も掛けに行こう。
- アサガオの看板にお花が咲いたときの絵を想像してかきたいな。

★次の時間からどんなことをしたいですか。

- さっそくアサガオの看板づくりをしよう。
- 私は、毎日パトロールに行き声を掛けるよ。

幼児期の 遊びを通した学び

と

生活科 自分の成長

とのつながり



遊びを通した学び

竹馬に挑戦…
友達が乗れるようになっていく中で、なかなかコツがつかめずにいた。それでも、諦めずに毎日挑戦。この日、ついに乗れるようになって「先生、見てて！」と嬉しい気持ちを伝えている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児がやりたいと挑戦し始めたことを応援します。心の動きを捉え、言葉で励ます、手を添えるなど、状況に合わせた援助を心がけます。諦めずに取り組み、できるようになった嬉しさは、自信につながります。



遊びを通した学び

「おいしょ！おいしょ！」
「誰か、手伝って〜！」一人じゃとても運べない重たい机もみんなと一緒になら大丈夫。嬉しくなって、「おいしょ！」の声も大きくなっている。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

一人でできることが増えていくことだけでなく、困った時に助けを求められることも大切にします。「みんなと一緒にだと運べたね」などと言葉に出すことで、力を出し合うことの大切さや助け合える仲間の存在に気付いていけるよう、働きかけます。



遊びを通した学び

絵をかきたい思いが膨らんで「**お庭でかきたいな！**」保育者と一緒に場をつくる。「**僕もやる！**」と周りの幼児たちもやってみようという気持ちが高まって楽しみながらかく。



遊びを通した学び

「〇〇くん、ピワ探ってくれる？」「よっしゃ！名人に任せてくれ！」ピワを探ろうと方法を考え、それを実行。自分の力を発揮し、自他共に認める名人となる。

主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

一人一人がしたいことを見付け、じっくり取り組む環境を保障し続けることで、自分の力を発揮するだけでなく、虫取りなら〇〇くん、木登りなら△△ちゃん…など、互いの得意なことが分かって認め合う関係性ができてきます。



遊びを通した学び

5歳児が、飼っているカブトムシを4歳児に分けてくれ、「**こごを持つといいよ**」と説明すると、真剣に聴く4歳児。年長組への憧れの気持ちが膨らむ。



遊びを通した学び

牛乳パックの船を真似て、空き箱で船づくり。水に浮かべるとすぐに崩れてしまった。「**どうして浮かばないの？**」と疑問をもって試している。

幼児教育を通して育まれた10の姿

- 健康な心と体
- 自立心
- 思考力の芽生え

※これらの活動では他にも「協同性」「豊かな感性と表現」などの姿も見とれますが、ここではあえて「自分の成長」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 自分が大きくなったこと、できるようになったこと、役割が増えたことなどが分かる
- 自分のことや自分を支えてくれた人々について考える
- これまで支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとする

幼児期の遊びを通した学び

園での学びを振り返ったり、そこで出会った人、もの、ことと自分との関わりについて「感じる」「気付く」「考える」「表現する」といった思考を働かせる。

目標	(知識及び技能の基礎) 自分が大きくなったこと、自分ができるようになったこと、役割が増えたことなどが分かる。
	(思考力、判断力、表現力等の基礎) 自分のことや自分を支えてくれた人々について考える。
	(学びに向かう力、人間性等) これまで支えてくれた人々への感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活する。
学習計画	①② 1年生のこれまでの思い出を伝え合い、学習の見通しをもつ。
	③④⑤⑥(本時) タイムカプセルをつくるために、家の人や園の先生、友達などから情報を集める。
	⑦⑧⑨⑩ タイムカプセルの中身について友達と交流することを通して、自分のことや自分の成長について表現する。
	⑪⑫⑬⑭ ※丸囲み数字は授業時数 タイムカプセルを開ける頃(2年生の最後)に、どんな2年生になりたいか考え、まとめる。

【授業展開例】

伝え合う

タイムカプセルをつくるために集めた情報をもとに、友達と交流する。

★タイムカプセルをつくるために、これまで自分ができるようになったことや成長したことなどをたくさん集めてきましたね。どんなことがありましたか。

- お家の人から、毎日自分から宿題ができるようになったねって言われたよ。
- アサガオがきれいな花を咲かせたのもぼくがたくさんお世話したからだ。
- 弟の保育園のお迎えに行ったとき、保育園の先生にすごい大きくなったねって言われたよ。これも私の成長だね。

★すごい！たくさん見付かりましたね。お家の人や園の先生に聞いて自分の成長を見付けた人もいますね。よいアイデアですね。では、自分のできるようになったことや成長をもっと伝え合いましょう。

見付けた自分の成長を伝え合おう。

- 生活科の学習で、毎日お家の手伝いをするようになったよ。
- 学校のこともたくさん知って、今はどこでも行けるね。
- 「初めて書いた名前」の作品を見ると、今の字と全然違ったよ。

★生活科やこれまでの学習を振り返ったのですね。学びを生かしていて素晴らしいですね。

- 幼稚園のときより字も書けるし計算もできるようになった。
- 私は保育園のときに比べて、給食を残さず食べられるようになったよ。

★園のときの自分を調べることで、今の自分の成長が見付かったのですね。すてきですね。

- お家の人に小さい頃の話を知ると、今できるようになったことがたくさん分かりそうだよ。
- 幼稚園は近くだから、〇〇先生に園のときの話を聞いてみたい。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

年間を通して生活科で学んだことなどを掲示物に残しておくことで、子供が自分の学びや成長を振り返ることができるようにする。その際、園での学びも踏まえて、自身の成長の気付きにつなげる。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

「前は～だったけど、今は～になったよ」など、過去の自分との比較や、「〇〇に聞いたら…」など、身近な人々から聞いた話等をもとに自分の成長に気付いている子供の話題を共有し、「比べる」という思考につなげるようにする。

ペアやグループで比べよう！



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

園での経験や園で学んだことと比較して、できるようになったことや成長したことを振り返るきっかけにする。また、園で多くの情報を集められるように事前に園と打ち合わせをするなど連携しておく。



計画する

次の時間にもっと調べたいことを書いて、インタビュー計画を立てる。

★自分の成長を見付けるヒントが出てきたようですね。次の時間はどんなことをしたいですか。

- お家の人に私が成長したと思うところを聞いてみたい。
- 学校の先生に聞くのもいいかも。保健室の先生もいつも私たちを見てくれるから、たくさん教えてくれそうだよ。
- 園の先生に会いたい。園のときの話を聞いたら、いろいろ分かりそうだよ。
- 6年生に聞いてみてもいいね。ずっと一緒にいてくれたものね。

★聞いてみたい人がたくさん出てきましたね。では次の時間はインタビューをしに行きましょう。インタビューで聞いてみたいことを成長メモに書いておきましょう。

振り返る

本時の学習をまとめ、次時への見通しをもつ。

- お家の人に、幼稚園のときの私の話を聞いてみたい。
- 保健室の先生に聞けば、体が大きくなったことも教えてくれそうだよ。
- 保育園の先生に、今の自分のことを伝えたい。園での思い出もたくさんお話ししたい。
- 6年生に、私たちが成長したなと感じることを聞いてみよう。
- タイムカプセルにたくさん私たちの成長したことが集まりそうだね。

★今日も自分の成長がたくさん見付かりましたね。次はたくさんインタビューできるといいですね。